

# お知らせします 上半期の財政状況

問い合わせは 財政課 ☎898-6542

本年度上半期（4月1日～9月30日）の財政状況を公表します。本市は中核市として2年目を迎え、暮らし優先の施策と市民サービスの充実を実現するため、より一層の財政基盤

の強化を図ります。数字は9月30日現在で、金額の1万円未満は整理しました。

## 一般会計

### 歳出

	予算額	支出済額	執行率
民生費	405億3,187万円	155億518万円	38.3%
土木費	215億9,658万円	66億8,399万円	30.9%
商工費	188億3,495万円	124億3,586万円	66.0%
公債費	150億7,344万円	74億3,490万円	49.3%
教育費	144億8,145万円	54億2,502万円	37.5%
総務費	124億5,334万円	37億5,467万円	30.1%
衛生費	81億231万円	26億8,780万円	33.2%
消防費	54億6,192万円	28億7,046万円	52.6%
農林水産業費	21億2,671万円	5億140万円	23.6%
労働費	8億1,698万円	4億1,982万円	51.4%
その他	13億6,265万円	3億2,533万円	23.9%
合計	1,408億4,220万円	580億4,443万円	41.2%

※歳出・歳入の予算額は繰り越し分（32億3,838万円）を含みます。

### 歳入

	予算額	収入済額	収入率
市税	470億5,161万円	289億4,362万円	61.5%
諸収入	192億8,046万円	6億15万円	3.1%
国庫支出金	188億3,839万円	72億2,660万円	38.4%
市債	175億8,082万円	0円	0.0%
地方交付税	150億3,400万円	111億2,222万円	74.0%
県支出金	67億1,321万円	8億4,745万円	12.6%
使用料・手数料	41億1,274万円	19億4,066万円	47.2%
繰入金	33億3,277万円	1億2,922万円	3.9%
地方消費税交付金	33億円	19億1,657万円	58.1%
地方譲与税	13億8,700万円	4億2,514万円	30.7%
その他	42億1,120万円	27億5,664万円	65.5%
合計	1,408億4,220万円	559億827万円	39.7%

## 企業会計

収入予算額(調定率)	会計名	支出予算額(執行率)
74億9,091万円(45.2%)	水道事業	97億613万円(28.3%)
100億8,750万円(42.1%)	下水道事業	126億7,685万円(29.4%)

※予算額には、前年度からの繰り越し分を含みます。  
 ※調定率とは、予算額に対し9月末現在で収入が決定している額の割合。  
 ※下水道事業には、赤城大洞簡易水道事業分を含みます。

## 特別会計

会計名	予算額	収入率	執行率
国民健康保険	346億8,526万円	33.6%	41.9%
老人保健	1,017万円	257.4%	2.2%
後期高齢者医療	31億1,113万円	35.5%	31.1%
競輪	214億4,988万円	35.5%	30.6%
農業集落排水事業	12億4,449万円	8.3%	32.6%
介護保険	206億9,714万円	36.7%	40.6%
簡易水道事業等	576万円	42.3%	26.7%
母子寡婦福祉資金貸付金	7,051万円	94.6%	3.7%

## 前橋産の自信作 赤城の恵ブランドを広めよう

問い合わせは 農林課 ☎898-5841

本市では、信頼される安全・安心な前橋産の農林水産物や、それを原材料に農商工連携によって創出された加工品の生産・加工・流通・販売の振興に取り組んでいます。

### ■赤城の恵ブランド認証品募集

「赤城の恵ブランド認証制度」創設に伴い、「赤城の恵ブランド」の認証品を募集します。

審査の結果認証されると、ブランド認証マークか「赤城の恵ブランド認証品」「前橋市推奨」の文字を表示できます。

**対象**＝次のすべてを満たす物。①農林水産物そのもの場合は、生産が育成が市内で行われている②加工品の場合は、

原材料に前橋産農林水産物が使用されている③安全・安心である。ただし、農畜産物は前橋農業振興地域整備計画に位置付ける重点振興作物のうち、環境に優しい農業に取り組むエコファーマーの認定対象物など④本市のイメージアップやPRにつながる



る個性が特徴がある⑤生産や販売体制などが確立している、持続的または定期的に提供できる⑥市内で流通や販売ができる⑦生産や製造、加工、販売が法令を遵守して行われている⑧認証後、受証者の負担でブランド認証表示や原材料名の表示ができる

**申し込み**＝2月18日(金)までに市役所農林課へ直接

### ■前橋産落花生を販売

「赤城の恵 前橋産落花生」を販売します。前橋ブランドの創出を目指して作付けされた落花生「ナカテユタカ」を天日に干して、いりあげました。12月1日(水)から市内酒販店や量販店、農産物直売所などに並びます。新豆ならではの、ふくよかでのかな甘みと香ばしさを、ぜひ、ご賞味ください。



合同開催の市民ダンスコンテスト



両市民に愛される大利根緑地



## 第20回前橋・高崎連携市長会議

# 前橋・高崎連携の

# 評価と今後を協議

前橋・高崎連携市長会議が、11月12日に前橋市役所で開催されました。今回の会議は、20回目の節目として、連携のこれまでの総括と今後のあり方について協議しました。詳しい内容については、本市ホームページをご覧ください。

問い合わせは 政策推進課 ☎898-6513

### 連携事業の成果を確認

平成9年度からの積み重ねにより、これまでに合意した連携事業は計34事業となりました。市民サービスの拡充を図った「管外保育の実施」や「図書館の相互利用」、効率的な基盤整備を進めた「都市計画道路の整備」、両市民の交流と友好を深めるための「イベントの共同開催」など、両市が協力して多くの事業に取り組み、皆さんの成果が出たことを確認しました。

### 「選択と集中」でより効果的に

今後、事業の取り扱いを見直し、連携事業の「選択と集中」を図り、

### さらなる連携推進を確認

両市の連携をさらに効果的に進めていきます。事業の実績や進捗状況に応じて、「事業は定着しているか」「事業内容は両市の市民に認知されているか」などの観点から事業を分類。現在実施している継続事業は、引き続き連携していくとともに、左表の12事業をより充実・強化する連携事業として、取り組んでいくことで合意しました。

### 充実・強化する連携事業

- ①文化イベントの共同開催
- ②文化財活用事業
- ③安全安心対策の連携
- ④食育推進事業の連携
- ⑤物産展の相互参加
- ⑥観光振興の連携
- ⑦都市計画道路の整備
- ⑧JR両毛線の利便性向上
- ⑨両市まつりなどでの市民交流
- ⑩スポーツ交流
- ⑪両市人事交流
- ⑫市職員合同研修

今回の会議では、連携市長会議や連携体制のあり方についても協議。来年度以降、両市ともに中核市となることを踏まえ、さらなる連携を目指すことで合意しました。今後は、連携市長会議は必要時に随時開催するほか、中核市固有の課題などについての情報共有・情報交換を行うなど、より柔軟な形で両市の連携を深めていきます。